



発行者  
文京学院大学  
女子中学校  
水上 茂

夏の部活動合宿

一年桃組 池田 萌愛

私の中学生になってからの初めての夏休みは、部活動が中心の夏休みでした。

中学校に入って私は吹奏楽部に所属しました。そのきっかけは、入学式で吹奏楽部の演奏を聴いてとても感動して、私もあの先輩たちと同じように演奏してみたいと思ったことでした。吹奏楽部に所属してからは、お盆に行われるコンクールに向けてたくさん練習をしました。高等学校のコンクールだったので私が出場できるかはわからなかったけれど、先輩方と一緒に練習をしたことは、とても勉強になりました。例えば、息をするタイミングや姿勢、口の形、腹筋の使い方などを直すとすべてがよくなり、音もきれいに出来るようになりました。入部したばかりの時はフルートの音を出すことさえも難しかったけれど、毎日練習をやり続けるうちにコンクールの曲も演奏できるようになりました。音を出すことも、楽譜を読むこともまだまだ難しいのですが、他の楽器と合わせて練習を重ねることで、自分なりに上手になれたと思います。

合宿では、学校に泊まり、一日中先輩方や仲間と過ごせたことも良い思い出になりました。練習をして、一緒に食事をして、銭湯に行くと、毎日とても楽しかったです。先輩方からたくさんのお話を教わり、学ぶことができました。

初めてのコンクールでは高校生と一緒に広いステージで演奏することができました。緊張と不安はいっぱいだったので、無事に演奏を終えたときにはほっとした気持ちになりました。みんなで一つのことに向けて努力できたことはとてもよい経験になりました。

吹奏楽部は、九月に文化祭での演奏があります。そのための新しい曲を演奏するのが今からとても楽しみです。私の目標はこれからもたくさん練習して、音楽を楽しみ、人の心に残る演奏ができるようになることです。そして、部活動を通してひとつのことをやり遂げる力をつけていきたいと思います。



妙高自然体験教室に参加して

二年栗組 井上 晴菜

私は、この夏休み初めて妙高自然体験教室に参加しました。虫が苦手な私はやや不安でしたが、早歩きという好奇心の方が勝っていたようで、当日は朝早く目が覚めました。

長時間バスに揺られて到着したのは関温泉でした。まず、驚いたのは駐車場のコンクリートが茶色に染まっていたことでした。この駐車場の下に温泉が流れている、表面が酸化鉄で覆われているため、茶色になると聞き納得しました。関温泉と赤倉温泉、それぞれの水質調査をするため湯を採取しました。

宿泊先は、国立妙高青少年の家です。夜は、星空観察をしました。やはり、東京に比べ空が広く感じ、北斗七星をはじめ、多くの星を見ることが出来ました。

二日目は、いもり池の近くにある妙高高原ビジターセンターで虫や植物のお話を聞きました。午後からはヨシ狩りをしました。かなりの暑さの中での作業でしたが、これにより水芭蕉に日光が当たり促すことができ、光合成のお手伝いをした気分でした。

夜は雷が鳴っていて星を見ることが出来ず、最終日の研究発表に向けて判ごでポスター作りをしました。

三日目の昼食はみんなで作った手打ちうどんでした。粉をまとめるのがたいへんで、更に切るのも難しく、うどんというよりは「ほうとう」のようになりましたが、とてもおいしかったです。

午後は長靴をお借りして源流体験をしました。きれいで冷たい水だったのでとても気持ち良かったです。

最終日の午前中は、それまでの研究を元に、妙高の職員の方や友達の前で発表をしました。良い講評をいただき嬉しかったです。文京学院では、調べてポスターにまとめ、発表するという機会が何度もあります。暑くてたいへんでしたが、また一つ経験値が上がりました。



宝のような思い出(マイプルベストに参加して)

三年栗組 武藤 瑞希

出会いは一生の宝物だと思う。

そう実感したのはこの夏にホームステイでカナダに行った時だ。ホームステイは初めてではなく、不安というものはあまりなかったが、ホームステイ先の人やどんな方なのかと、少し緊張していた。初めてのお会いたしときに笑顔で迎えてくださってとても安心した。そして、これからカナダで過ごすことがとても楽しみなになった。

しかし、自分が想像していたよりも苦労することが多かった。

例えば、普段食べないようなものが出てきたとき、はじめは戸惑った。でも、時間が経っていくうちに慣れていくようになった。また、会話の内容を理解したり、自分から何か話しかけたりすることはとても難しい事だった。それでも普段には無い貴重な時間を無駄にはしたくなかった。だから、自分なりにコミュニケーションをとろうと努力した。

私にとって大変なこともあったが、感謝していることもある。私がまだ新しい環境にわからないことだらけだったとき、全く面識のない私の事を気に掛け、声をかけてくださったたり、様々な場面で助けてくださった人達が沢山いた。このことに私は本当に感謝しているし、感動した。

